

第7回 インフラ構造物長寿命化研修会

<主催>公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

<共催>佐賀大学インフラ構造物長寿命化研究所

佐賀県の自治体が管理する橋梁数は約 11,000 橋にのぼり、これらは各自治体で策定された橋梁長寿命化修繕計画に基づいて点検・修繕が実施されている。また、トンネルや橋長 2.0m 以上の橋梁等については5年に1回の頻度での近接目視による定期点検が国土交通省により義務付けられた。

このようなインフラ構造物の維持管理において、新たな調査手法の開発や劣化メカニズムの把握等には構造物の詳細な劣化調査によるデータの蓄積が有効となる。また、構造物の品質管理では供試体により特性値を直接測定することが現実的には難しく、非破壊試験などによる間接的な測定が重要となる。

研修会では、佐賀県唐津市の国道 203 号の徳須恵川に架かる旧川原橋（RC 橋、築 82 年）のけた試料の詳細調査の報告、RC 構造物の耐久性に大きく影響を及ぼす表層品質についてご講演いただく。

日 時	平成 28 年 1 月 29 日（金）14：00～17：00
場 所	マリトピア（佐賀市新栄東三丁目 7 番 8 号）
講 師	佐賀大学インフラ構造物長寿命化研究所/佐賀大学大学院 石橋 孝治 教授 ・ 三田 勝也 助教
内 容	(1) 表層品質から見るコンクリートの耐久性 14：00～15：30 <休憩> 15：30～15：45 (2) 旧川原橋のけた試料の詳細劣化調査の報告 15：45～17：00
対 象	自治体職員、建設コンサルタント、建設業者
定 員	80 名
参 加 費	3,000 円（税込）
申込方法	メール（ gkenshu@sagacat.or.jp ）にて①氏名、②所属、③TEL、④FAX を明記のうえお申し込みください。参加費の支払方法は申込受付後、メールにてご連絡します。なお、1 社あたりの人数制限はございません。
申込期限	平成 28 年 1 月 22 日（金）17：00（定員になり次第締め切ります）
そ の 他	お車でお越しの方は施設駐車場をご利用ください。
問 合 先	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町 3182 番地 公益財団法人佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 担当：喜連川（きれかわ） TEL 0952-26-1668 FAX 0952-26-1669

※本研修会は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会の CPDS（3unit）に認定されています。